

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

大牟田市内の高齢者（要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加の状況）を分析し高齢者の自立生活を阻む課題（地域課題を含む）をよりの確に把握することで、地域診断に活用し地域の抱える課題を特定する。

なお、調査結果は介護予防・日常生活支援総合事業の進捗管理のほか、大牟田市健康福祉総合計画・第 9 期介護保険事業計画を作成、進捗管理するための基礎資料とする。

2. 調査設計と回収結果

（1）調査対象者

市内在住の 65 歳以上の高齢者で要介護認定を受けていないもの（介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者、一般高齢者）2,000 人（前期高齢者、後期高齢者各 1,000 人）

（2）調査方法

郵送による配布・回収

（3）調査期間

令和 5 年 5 月 1 日～令和 5 年 5 月 24 日（調査予備期間も含む）

（4）回収結果

有効回収数 1,106 件（回収率 55.3%）

【各地区地域包括支援センターエリア別、小学校区別・回答者基本属性】

(%)

	全体 (人)	性別		年齢別						要介護認定度別				(%)
		男性	女性	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 歳 以上	総合 事業 対象 者	要 支 援 1	要 支 援 2	そ の 他	
全体	1,106	42.3	56.5	20.6	26.9	22.0	15.6	9.1	4.7	11.5	3.5	3.9	42.2	
各地区地域包括支援センターエリア別	中央地区	274	40.5	58.8	20.4	27.4	23.7	15.0	10.2	3.3	12.0	2.2	2.6	42.7
	大牟田中央	74	39.2	58.1	28.4	21.6	21.6	13.5	6.8	8.1	17.6	4.1	2.7	36.5
	大正	43	46.5	53.5	14.0	27.9	37.2	9.3	9.3	2.3	9.3	2.3	—	51.2
	中友	36	44.4	55.6	22.2	22.2	22.2	16.7	13.9	2.8	19.4	—	5.6	30.6
	白川	69	37.7	62.3	20.3	34.8	17.4	15.9	11.6	—	8.7	1.4	2.9	50.7
	平原	52	38.5	61.5	13.5	28.8	25.0	19.2	11.5	1.9	5.8	1.9	1.9	42.3
	手鎌地区	118	44.1	55.9	27.1	25.4	20.3	13.6	9.3	4.2	17.8	4.2	4.2	35.6
	明治	45	42.2	57.8	28.9	22.2	24.4	6.7	13.3	4.4	17.8	6.7	8.9	31.1
	手鎌	73	45.2	54.8	26.0	27.4	17.8	17.8	6.8	4.1	17.8	2.7	1.4	38.4
	吉野地区	147	41.5	58.5	21.8	28.6	19.7	14.3	8.8	6.1	8.2	4.8	4.1	43.5
	上内	16	31.3	68.8	12.5	37.5	6.3	18.8	12.5	12.5	6.3	—	12.5	43.8
	吉野	79	39.2	60.8	26.6	30.4	20.3	13.9	6.3	2.5	7.6	5.1	1.3	43.0
	倉永	52	48.1	51.9	17.3	23.1	23.1	13.5	11.5	9.6	9.6	5.8	5.8	44.2
	三池地区	252	45.6	54.4	22.2	27.0	24.2	19.0	4.8	2.8	10.7	3.6	3.6	43.7
	高取	41	43.9	56.1	14.6	19.5	29.3	29.3	4.9	2.4	9.8	4.9	9.8	48.8
	三池	90	45.6	54.4	26.7	27.8	20.0	16.7	4.4	4.4	11.1	3.3	1.1	44.4
	羽山台	48	50.0	50.0	27.1	25.0	31.3	14.6	—	2.1	14.6	2.1	4.2	39.6
	銀水	73	43.8	56.2	17.8	31.5	21.9	19.2	8.2	1.4	8.2	4.1	2.7	42.5
	三川地区	112	37.5	61.6	17.0	25.9	19.6	13.4	16.1	6.3	9.8	5.4	5.4	37.5
	みなと	63	52.4	47.6	20.6	31.7	15.9	12.7	12.7	6.3	11.1	7.9	4.8	41.3
	天領	49	18.4	79.6	12.2	18.4	24.5	14.3	20.4	6.1	8.2	2.0	6.1	32.7
	駿馬・勝立地区	185	44.3	54.6	16.8	27.0	20.5	17.3	9.7	8.1	11.9	3.2	4.9	47.6
	駿馬	87	40.2	58.6	16.1	25.3	25.3	17.2	10.3	4.6	11.5	1.1	3.4	49.4
	天の原	62	46.8	53.2	14.5	27.4	19.4	19.4	9.7	9.7	12.9	4.8	4.8	46.8
	玉川	36	50.0	47.2	22.2	30.6	11.1	13.9	8.3	13.9	11.1	5.6	8.3	44.4
	わからない	4	50.0	50.0	—	50.0	25.0	—	25.0	—	—	—	25.0	50.0

3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数とした百分率(%)で表し、少数第2位を四捨五入している。このため百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の設問では、回答比率の割合が100%を超える場合がある。
- 図表中の選択肢表現は、コンピュータ入力の都合上、調査票の回答選択肢を短縮して表記している場合がある。
- 図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をすることが難しいので、回答傾向をみる程度になる。
- 性別・年齢、圏域等の基本属性とのクロス集計においては、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。